



「地域包括ケア」って何？

支え合いの仕組みを
みんなで考えよう

「地域包括ケア」という言葉を耳にしたことがありますか？国は「高齢者が人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要な支援体制」と説明しています。

皆さんは、5年後、10年後、そして将来に向けて、この蒲郡の街をどのような地域にしたいですか？今、全国の市町村で、高齢者の皆さんが暮らしやすいまちを自分たちで考え、作っていかうという取り組みが始まっています。これを推進するため「協議体（地域の支え合いを話し合う場）」と「生活支援コーディネーター（地域の支え合いの推進をお手伝いする方）」という仕組みが作られました。

皆さんは「自分の地域でもこんな仕組みがあるといいな」というようなことはありませんか。もし

かしたら、既にこんな取り組みを
していて、高齢者や地域の方々に
喜ばれています、というような方
もいるかもしれません。

健康づくりの教室や高齢者が集
まるサロン、高齢者の見守り活動、
地域で子どもを見守るために高齢
者が活躍していたりと、さまざま
活動も市内各地で行われています。
「自分の地域では高齢者がこんな
とで困っている」「こんな活動があ
ると助かるのに」など、そんな話し
合いの場ができ、それを地域のみな
んで考えられれば、自分らしい暮
らしを続けることのできるまちに
一歩近づくのではないでしょう
か。その話し合いの場や活動支援を生
活支援コーディネーターがお手
伝いさせていただきます。

今年度、市内各地区でこの話し
合いの場「協議体」の立ち上げに
向け、勉強会を実施していきます。
皆さんもこの取り組みにぜひご参
加ください。



カンブリア爆発の 謎に迫る

5月10日は「地質の日」。明治
9年に、日本初の地質図が作られ
た日です。地質とは、地層や岩石
からなる、私たちの足元に広がる
大地の性質を指します。資源やエ
ネルギを与えてくれる一方、時
に大きな災害をもたらす大地。そ
の性質を知ることが、豊かな人間
生活を送るために、とても大切な
ことです。

大地を形作る地層には、地球が
たどってきた長い歴史の痕跡が保
存されています。幾重にも重なっ
た地層の性質を一つ一つ調べてい
くと、まるで大きな本のページを
めくるように、さまざまなストー
リーが現れてくるのです。特に、
太古の生物の姿を閉じ込めた化石
からは、絶滅と繁栄を繰り返す、
生命の進化の道筋が明らかにされ
てきました。

地球生命の歴史において最も大
きかった出来事のひとつは、海
洋生物が爆発的に進化した、約
5億4千万年前の「カンブリア爆
発」でしょう。なぜ急に海中の光
景を一変させるほど多様な生物が
出現したのか？という疑問は、進
化論を唱えたダーウインをも悩ま
せました。生物同士の「食う・食
われる関係」が発達したことなど

の要因が考えられています。が、い
まだに大きな謎として研究者の注
目を集めています。

生命の海科学館では5月13日
(日) 午前11時から名古屋大学博
物館の大路樹生館長を迎え、地質
の日講演会「モンゴルのフィール
ド調査から生命進化を探る…カン
ブリア爆発の解明」を開催します。
生物進化の大きな謎、「カンブリ
ア爆発」についての研究最前線に
触れてみませんか。皆さんのご来
館をお待ちしています！



当館が誇る、カンブリア紀
の化石コレクション！

生命の海から

学芸員
松本万尋

生命の海科学館
☎ 66♦1717